

move to

P, Ruy

みんなが、
なにかの、
主役な町。

**TAKE
FREE**

YOUNG PEOPLE, BE AMBITIOUS.

見慣れた景色に囲まれた日々のルーティンにゆるい幸せを感じながらも、

ときどき何か新しいことにチャレンジしたくなったり、

まだ見ぬ土地への憧れを抱くときがある。

ならばいっそ広尾町に住んでみるのはどうだろう。

みんなが、なにかの、主役な町へ。



広尾町移住チェックシート

- 馬や羊やヤギ。大きいペットを飼ってみたい
- サーフィンが好き
- 狩猟に興味がある
- 2拠点生活をはじめたい
- おいしいものに目がない
- 釣りがしたい
- 自然が好きでたまらない
- デジタルデトックスしたい
- 田舎すぎない田舎がいい
- 新しいことにチャレンジしたい
- 第一次産業に興味がある

ひとつでも当てはまった貴方は移住価値あり。



憧れの“小屋”でゆったり楽しむスローライフ

好きなもので埋め尽くされた空間にはロマンがある。小屋は大人の秘密基地。都会の喧騒から離れて、時間がゆっくりと流れる小屋暮らしを送るのはどうだろう。何十年もかけて自分でコツコツつくったという2軒の小屋と、そこでの過ごし方をご紹介します。

01 BBQや鍋パ、みんなでワイワイ「集いの小屋」



敷地に入ると立派な家庭菜園が広がる。その奥の一角にはエサ台が置かれていて、近づいても怖がらないシマリスが3匹。無心でまわりのタネをほったに詰め込んでいた。畑ではズッキーニや大根、トマトやリンゴなどたくさんの野菜や果物を農家ばりに育てていて、その野菜を使って、窯でピザを焼いたり薪ストーブでおでんをつつたり、度々おいしい料理をふるまってくれる。「おなかがいいたら小屋においで」と微笑んでくれるのは、髭がかわいい小屋のご主人。皆の頼れるお父さんの存在だ。子どもも大人も、日本人も外国人も、いろんな人がここに集う。そして、遊びに来た人たちは笑顔で溢れている。ご主人曰く「小屋は進化するもの」。どんどん魅力が増すこの小屋には来客が絶えない。



02 コーヒーと音、趣味に没入する「カフェ小屋」



蓄音機から流れるレコードの音、ハンドドリップで淹れる珈琲の香り。小屋の中は大きな丸太が柱となり木のぬくもりに包まれている。絵本の中に迷い込んだかのような空間だ。この小屋は元々、店主である五十嵐さんご夫婦が息抜きをするためにつくった休憩所。しかし、自分達の大好きな音や珈琲を共有し、人が集える場所になってほしいと考え、2022年にカフェ【山の家】としてオープンした。小屋の裏庭には草花が溢れるガーデン、綺麗な小川が流れている。そんな素敵な景色の中を看板馬のハナちゃんが優雅にお散歩している姿は実に印象的だ。冬の間は長期休業、珈琲は一杯200円(税込)。この小屋は、店主もお客もみんながほっと一息つく憩いの場なのだろう。



PIRUY CROSS TALK

東京生まれ、東京育ちと
仙台生まれ、広尾移住者
広尾で人気のお寿司屋でちょこっと対談

PIRUYイメージモデル
文目ゆかり

東京出身・東京在住
北海道に来るのは今回が初めて

中村まや

猟師 & 編集者

宮城県出身・広尾歴1年。
東京と広尾町の2拠点生活をおくる

時代に寄り添う、2拠点生活

今回、広尾町に初めて訪れたモデルの文目ゆかりと、東京と広尾町で2拠点生活を送る猟師の中村まやによる移住トーク。広尾町で親しまれている寿司屋【港寿し】で一杯交わしながら、リアルな2拠点生活について語ります。

東京と広尾町 2拠点生活って どんな感じ...?

広尾のことなら
なんでもきいて!

広尾町出身・広尾歴60年
港寿し大将 松本勝博さん



広尾の名産“本ししゃも”の身は、ほのかにピンク色!



極寒の朝にのみ見られる幻の光景“けあらし”



春にはアイヌネギなど山菜採りも楽しめる

以下表記
ゆかり=ゆ
まや=ま

ゆ: まやはなんで東京にも家があるのに、広尾町にも拠点を増やしたの?

ま: 東京には編集者のプロがいて、広尾町には猟師のプロがいる。猟師と編集者という複業が成り立つのか試してみたかったの! あとは、年間を通して猟をすることで蝦夷鹿のことをもっと知りたかったのも大きな理由。ゆかりは2拠点生活や移住したいと思ったことある?

ゆ: それがね、いままで全くなかったの。でも今回初めて北海道を満喫してみて、移住は夢があると思った。薪ストーブのある家とか、畑いじりしたりとか、絵本みたいな生活が本当にあるんだな〜って。東京育ちだから地元に戻るという感覚がないんだけど、広尾町の人たちはみんな親戚みたいに良くしてくれて、こりゃ田舎があったら帰りたくなるわな。って気持ちになった! けどさ、現実的に気候とか年間過ごしてみても不便に思うことはない?

ま: 冬は-12℃とか数字で見ると寒いんだけど意外と大丈夫! 十勝管内だと比較的寒くない方で雪も毎日降り積もるといよりは、たまにまとまって降る程度。なかなか30℃を越える日がないから涼しくて避暑地に最適だと思った! 夏に東京に帰るとすごく暑く感じるようになったよ。

ゆ: 東京と比べて金銭的にはどんな印象?

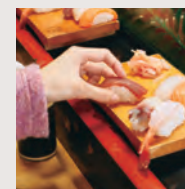
ま: 家賃は安い! 大体みんな4万円前後かな。東京より高いと思ったのはガソリン代と冬の灯油代くらい。逆に安くなったのは食費だね。広尾町は食料自給率が高く生産者が身近だから、旬の食材が届く届く! 大きなネットに20個入った玉ねぎとか、しぼりたての牛乳とか。魚の一夜干しが玄関にぶら下がってたのはびっくりしたな…。食材をいただくことで自分で工夫しているんな料理を作ることになったから料理スキルはかなり上達したよ!

ゆ: 最後に、2拠点生活をはじめてみての感想を一言!

ま: 2拠点いいですよ! 自分の気分とやりたいことに合わせて行ったり来たり。いつでもどっちにいてもフレッシュな気持ちで仕事が頑張れます。リモートワークが可能な職種の人、第一次産業に触れたり自然の近くにいたい人にはなかなかいい環境だと思います。

【港寿し】

住所 北海道広尾郡広尾町丸山通北2丁目
営業時間 15:00 ~ 21:00
(テイクアウトは午前中でもOK)
電話 01558-2-2368
定休日 水曜



ローカルな幸を味わう、

広尾 GOURMET



広尾の食卓

- ・かじかのとも和え
- ・ババガレイの煮付け
- ・豚の生姜焼き
- ・かじか汁
- ・白米



大きな商業施設はないけれど、コンビニやスーパーマーケット、ドラッグストアやホームセンターなど生活に必要な必需品はしっかり揃う広尾町。まちの漁港で獲れた魚介類、新鮮な野菜、広尾ならではのおいしい商品もたくさん。知らないと感じけないようなコンパクトな店舗に「このお店は営業しているのか？」と入っていいのか不安になることもあります。一度入れば「いらっしやい」と優しく出迎えてくれるお店ばかり。最近はPayPayなどの電子マネーが使えるお店も増えています。ぜひ一度、立ち寄ってみてください。

【ファミリーふせ】
住所 北海道広尾郡広尾町本通6丁目6-2
営業時間 9:00-18:30
電話 01558-2-2052
定休日 日曜

gogo!!



広尾町のいろんな商店で見つけた、おいしいもの



01

広尾親しみの味。
『ラムジンギスカン』

メスとオスが2匹ずつ入った
『めおとししゃも』



02

冷凍したまま焼くだけで、
すぐおいしい！

03



縁起のいい名前の日本酒
きつかつ
『吉十勝』！

広尾のグルメ情報は
このMAPでチェック！



料理の個性を引き立てる名脇役
『星屑昆布』



04



05

ミルクたっぷり
とろ〜りおいしい、
『広尾なめらかプリン』

サクッとジューシー！
これを食わずに広尾は語れない。 06



『とり久の唐揚げ』



おいしい！

HIROO LIFE STYLE

広尾町に移住してみてもうですか？

移住のきっかけは人それぞれ。転勤や結婚を機にという人もいれば、新しいなにかを求めてくる人もいます。実際に広尾町に移住した2人に移住のきっかけと暮らし方をインタビュー。



フンベの滝があるエリアの海ではサーフィンも楽しめる



朝6時に集合し十勝港第四埠頭で釣りへ。3人で大量のイワシを釣りあげた。

HIROO LIFE STYLE



BREAD MAKING



昆布パンをラスクにしてサラダとして食べても◎



HIROO LIFE STYLE

最近開発したのは、広尾町の星屑昆布を1日水に戻したものをたっぷり練りこんだ、出汁香る昆布パン。

ゼロからはじめた、友達&パンづくり

Q、移住のきっかけは？

広尾町の漁師との結婚を機に帯広市から広尾町に2020年に移住しました。

Q、広尾町の印象は？

はじめは商業施設などがなくて住みづらいと思いましたが混み合うこともないし、今はコンパクトで住みやすいと思っています。何より、海が見えるのがやっぱりいいですね。

Q、休日は何してる？

元々パン屋で働いていたこともあってパン作りが多いですね。主要材料も具材もできるだけ広尾産を使っています。広尾町の特産品の昆布を使ったパン作りは未知だったけど、使ってみたら意外と相性が良くて広尾のソウルフードになれるぐらいの可能性を感じました。いずれは広尾町でパン屋さんをオープンしてこの昆布パンなど広尾ならではのパンを味わってみたいです。

Q、友達はできた？

そうですね、【菊地ファームカフェ】で働きはじめてからたくさんのお会いがありました。あとは、ご近所さんと密に関わったり、知り合いが知り合いを呼んでみんな知り合いになるみたいな都会では経験したことのない出会いもあったり、友人づくりには困りませんでした。

黒田 和(28)

親元を離れ魚を求めて、釣り移住

Q、移住のきっかけは？

元々住んでいた鹿追町には海がなかったの、高校生になるタイミングで広尾町に移住しました。広尾の海ではチカやイワシ、秋には秋アジなどが釣れますよ。親元を離れて移住できたのは、下宿を活用できたのが大きな理由です。

Q、広尾町の印象は？

とても静かで住みやすい町だと思います。年齢的に車がまだ運転できないので、遊びに行くための交通手段が少ないのはちょっと不便ですね。でも、徒歩で釣りに行くので釣り好きにはいい町です。

Q、友達はできた？

高校に釣り仲間がいるので一緒に釣りに行きます。釣れたサバは友達の家を持ち帰ってみんなで捌いて唐揚げにして食べたりしています。

Q、休日は何してる？

釣りでですね。あとは友達とゲームしたりアニメ見たり。

FISHING



広尾町で出会ったのは、なりたい自分でした。

WORK

みんながなにかのプロの町。そんな広尾町で必要とされる生業の中には、都会では出会えなかった面白いものがある。造船、酪農、狩猟、林業、漁業。自然の中が職場という環境に身をおいて、いままで知らなかった新しい自分に出会うのもいいのでは？ 広尾町で働くプロたちに、仕事についてのやりがいを取材した。

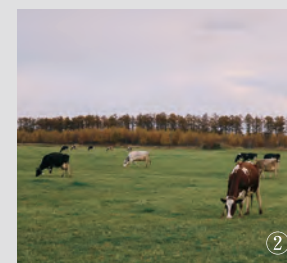


DAIRY HELPER

▼ 酪農ヘルパー

酪農家の頼れるピンチヒッター

ごはんをあげて、搾乳をして、掃除をする。牛の命を預かる以上なかなか休みが取りづらい酪農家の仕事。そんな時に酪農家を助けられるのが酪農ヘルパー。登録されている近郊の牧場からヘルプ要請が出されるとその牧場に派遣して、酪農家になって牛のお世話をします。酪農ヘルパーのメリットは特定の資格の取得が必要なく、やる気と牛への愛があればすぐにスタートできること。現在「南十勝酪農ヘルパー組合」には約 20 名が在籍し、平均年齢は 20 代と若め！ 将来酪農家になりたい方や、酪農に関わってみたい方にうってつけ。

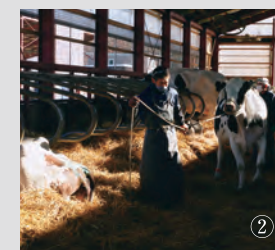
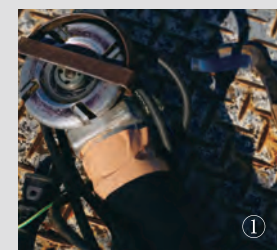


- ① 話しかけたり、牛とのコミュニケーションが大切
- ② 放牧地でのびのびと牧草を食べる牛たち
- ③ 搾乳は牛の機嫌を見ながら丁寧に、慎重に。

▼ 削蹄師

牛の健康、蹄にあり。
牧場を支える縁の下の力持ち

なかなか聞きなれない“削蹄師”は、牛の蹄（ひづめ）の手入れを行う仕事。牛は4本の脚で700kg前後の体を支えているため蹄は大切な生命線。蹄の手入れを怠ると“蹄病”を発症し、歩くのが困難になったり、子どもが産めなくなったり、乳量が落ちたりしてしまいます。そのためパフォーマンス向上のためにフットケアを定期的に行います。この仕事をはじめするには、まずは弟子入りをしてアシスタントとして働くのがオーソドックス。その後、牛の削蹄師の資格を取得すれば独立も可能。お医者さんでも酪農家でもなく、削蹄師にしかできない牛へのケアがあります。



- ① 鎌や剪鉗（せんかん）という特別な刃物を使って削蹄を行う
- ② 削蹄前は緊張しているが削蹄後は牛もどことなく嬉しそう
- ③ 牛が動かないように固定し器具で脚を上げ手早く蹄を整える



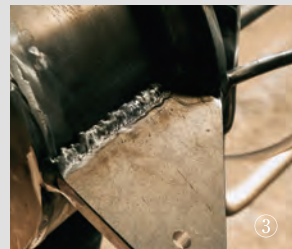
HOOF TRIMMER



▼ 溶接師

海を支える、
もうひとつのプロフェッショナル

造船業とは主に鉄鋼の切断や溶接、加工を行って船をつくり上げていく仕事。漁師町の広尾において漁業が成り立つためには“造船業”が必要不可欠です。広尾町の造船所は北海道をメインとした納品が多いですが全国の漁師からの評価も高く、大きな信頼と実績を兼ね備えています。職場は男性がメインとなりますが、女性でも興味を持ってくれる人がいればインターンも歓迎。造船業は、鉄鋼業、機械、電子、化学、大工といったさまざまなジャンルのプロが力を合わせる一大プロジェクト。夢とロマンが詰まった壮大なモノづくりにチャレンジしてみませんか。



- ① 昭和35年創業。全国に誇れる船をつくる【村上造船所】
- ② 組まれた足場。現場は常に研ぎ澄まされ緊張感が走っている
- ③ 溶接部分。ここが腕の見せどころ！この1か所に技が詰まっている

WELDER



FOREST WORKER

▼ 山師

100年後の森を育てる

森林面積が80%を占める広尾町は林業も盛ん。木を伐るだけでなく、春は植林、夏は下草刈り、秋冬は間伐や皆伐など、四季折々の仕事があります。現在は各林業会社と森林組合の元で広尾町の山を管理していますが、後継者不足や人手不足は深刻。山に携わる＝自然を相手にすることなので、危険も伴い簡単なことではありません。でも、空気がおいしい自然の中で働く楽しさは林業の特権。雪が溶け、芽吹き時期の土の香り。新緑の時期の鮮やかな碧（あお）。紅葉と表情豊かな実りの秋。凍りつく空気の張り詰めた銀世界。自然を五感で満喫できる仕事です。

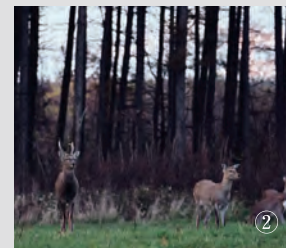
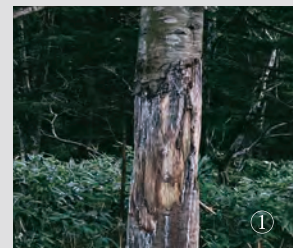


- ① 間伐作業は森を守るためにも必要不可欠
- ② 木を伐り、枝払いまでこなす最新の機械
- ③ 丸太の数字は木材の直径を示している

▼ 猟師

山の生態系を守り、
命と向き合う

動物の狩猟を行い肉や皮を販売するなどして生計を立てる猟師。広尾町では主に蝦夷鹿をメインとした猟を行います。熊やアライグマも狩猟鳥獣に含まれます。猟師になるには狩猟免許が必要で、銃を使用する場合は別途銃刀法の資格も必要になります。高齢化が進み人口が減っているハンターを横目に、鹿の数はとどまることを知りません。広尾町には熟年のハンターから若手の猟師まで現在38人が猟友会に在籍しており、若手ハンターの育成にも力を入れています。猟師は生態系を肌で感じ、大切なことが学べる貴重な生業です。



- ① オスの鹿がツノを研ぐために木に擦りつけた跡
- ② 牧草地に現れた鹿の群れ。夢中で草を食べていた
- ③ 猟師の平均年齢は高いが最近では若手女猟師も移住



HUNTER

継ぐもの

やまはたせいめん
十勝で数少ない製麺所のひとつである【山畑製麺】は、

道産小麦粉を主原料とした生パスタ、ラーメンなど

バラエティーに富んだ麺をつくっている。

この麺は学校給食でも使われ、

地元の飲食店でも高頻度で口にするなど、

広尾で生まれ育った人は幼少期から馴染深いソウルフードだ。

ほっと安心する、食べ慣れた味と食感。

途絶えて欲しくない伝統と技がここにある。

【山畑製麺】
北海道広尾郡広尾町本通12丁目9
営業時間 9:00 ~ 18:30
電話 01558-2-2145
定休日 日曜



空き家が
0円!?

お宝発見、広尾の物件探し

住むとなったら、いざ物件探し！広尾町に高層マンションは見当たらないが、アパートや町営住宅、一軒家の賃貸は探せばいろんな候補があって、家賃もなかなかお手頃な印象。“借りる”という選択肢の他にも“空き家の購入”もぜひ視野にいれてみてほしい。現地にきて探してみないとなかなか情報は掴みづらいものの、実は魅力的な空き家がゴロゴロある。リノベーションして別荘にするもよし、エアビーに登録して稼ぐもよし！土地付きで0円の物件もあれば、300万円程度で購入できる元旅館、駅前の元居酒屋は50万円で売りに出されている。探してみれば、きっと貴方のビジョンに合った一軒が見つかるはず。広尾は掘り出し物件がいっぱいだ。

理想のあうらうを
みつけよう！



理想の暮らしを実現！ 広尾町の嬉しい支援

広尾町民になると、奨学金の返済や新規就農の際などに、町の助成支援を受けられる可能性があります。条件や申し込みの詳細は役場でCheck！

奨学金がまだ残っている35歳以下に朗報 [広尾町奨学金返還支援事業助成金]

広尾町内に定住して就業する方が就学のために貸与を受けた奨学金の返還金の一部を助成することにより、町の将来を担う若者の定住及び就業の促進を図る。助成を受けられるのは35歳以下。最大で月額1万円、年額12万円の助成を受けることができる。



広尾町でなにかをスタートしたい貴方へ [広尾町起業家等支援事業補助金]

起業の促進による産業の振興、商店街の活性化及び雇用の促進を図るために、広尾町において新たに事業活動を行う方や新規分野での事業活動を支援！広尾町の空き店舗を活用してゲストハウスや飲食店をスタートしたり、木工製品をつくるラボを立ち上げるなど使い方はさまざま。上限は100万円。フリーランスでの屋号取得の場合でも、やりたい内容によっては相談可。



酪農や畑作。“農LIFE”に憧れる方必見 [新規就農者誘致に関する奨励金]

広尾町において新たに農業を営み、農業振興に寄与する方に対して奨励金などの援助を行い新規就農者を応援。対象になるのは農業経営を営む能力と経験がある20歳～50歳。営農初年度から5年間に要する農用地などの賃借料2分の1の奨励金や、3年間の固定資産税相当額の奨励金が助成される。



他にも嬉しい支援がいろいろ▶

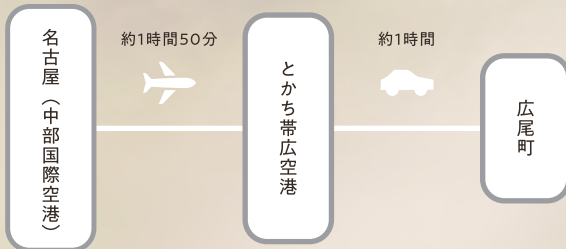


ACCESS

広尾町までのアクセス

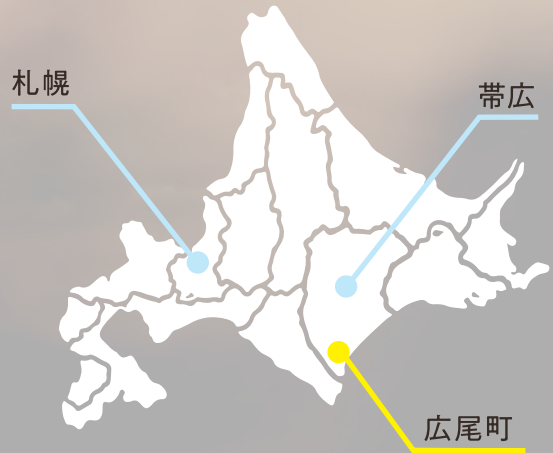
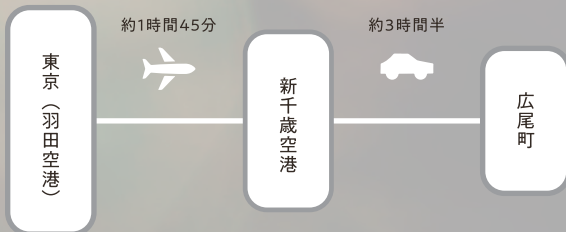
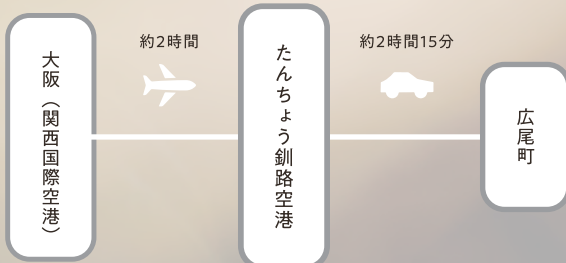
【各空港から車やレンタカーをご利用の場合】

【札幌駅から交通機関をご利用の場合】



高速バス：ひろおサンタ号※要予約

※臨時の季節便をご確認ください



move to PIRUY

2023年03月発行

発行元/広尾町役場企画課

製作/ピロロ企画

お問い合わせ01558-2-0184

(広尾町役場企画課)

produce&editing Nakamura Maya

art direction & design Shimizu Miho

photographs Akama Daichi / Kambe Aoi

copywriter Kato Akihiro

model Ayame Yukari

広尾町のことをもっと知る

広尾町公式HP

